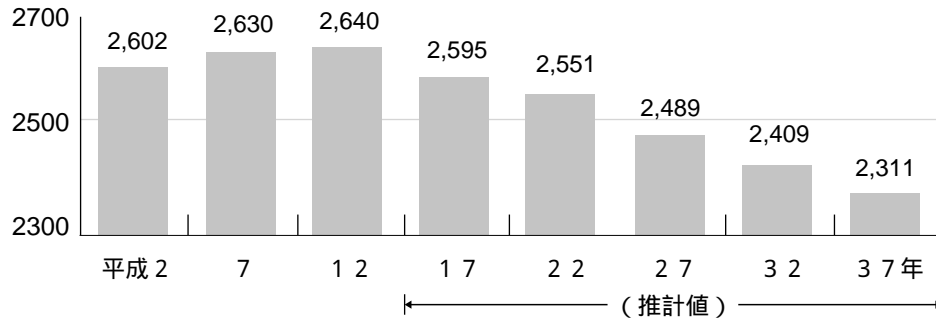


## | 資料編 |

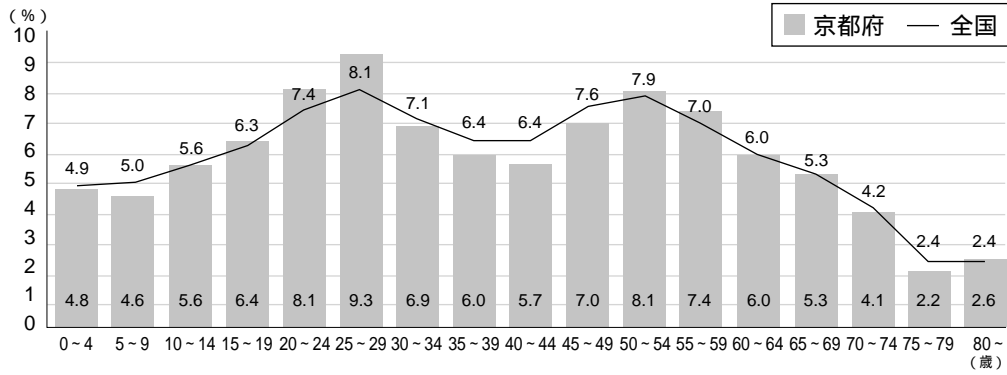
図1 京都府人口の推移

(単位：千人)



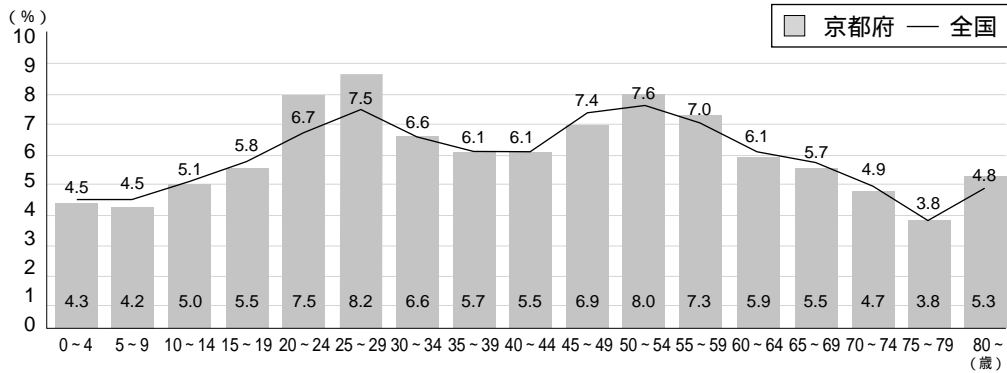
資料：(財)統計情報研究開発センター

図2 京都府の年齢階級別人口構成比(男性)



資料：「平成11年度 人口動態統計」

図3 京都府の年齢階級別人口構成比(女性)



資料：「平成11年度 人口動態統計」

図4 1世帯当たりの人員の推移

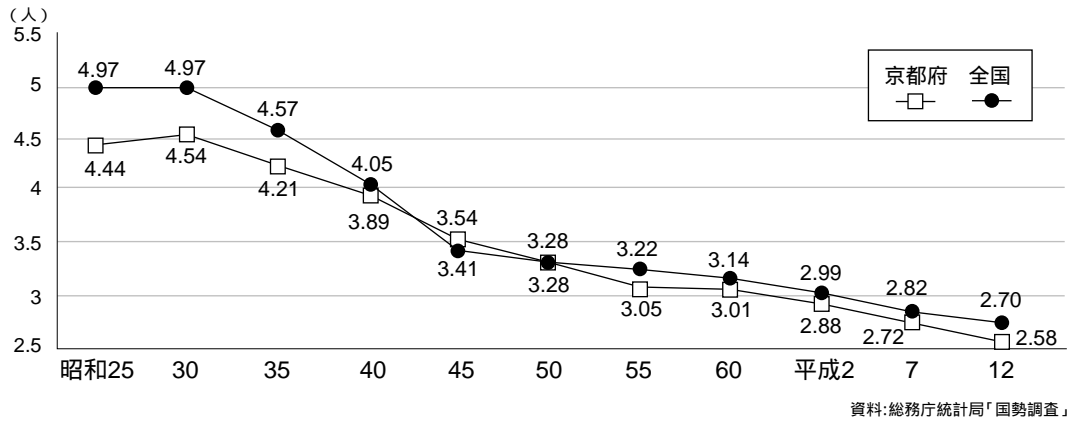


図5 合計特殊出生率の推移

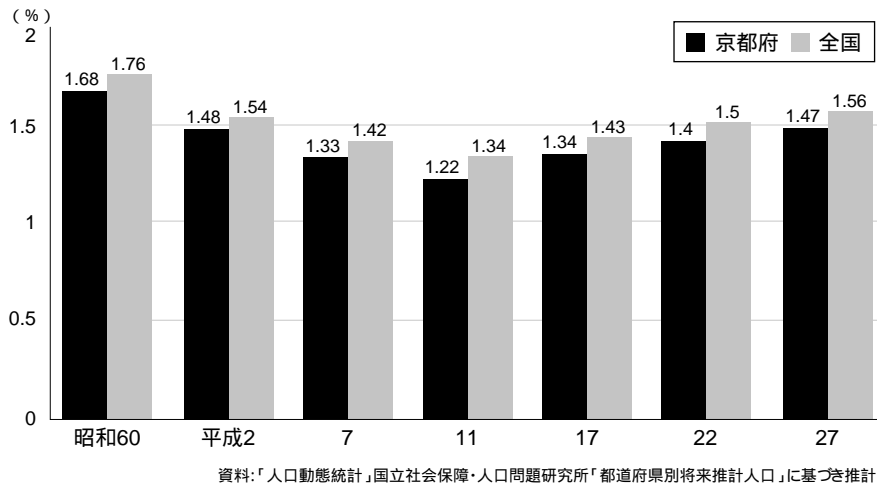


図6 京都府の出生率・死亡率・自然増加率の推移

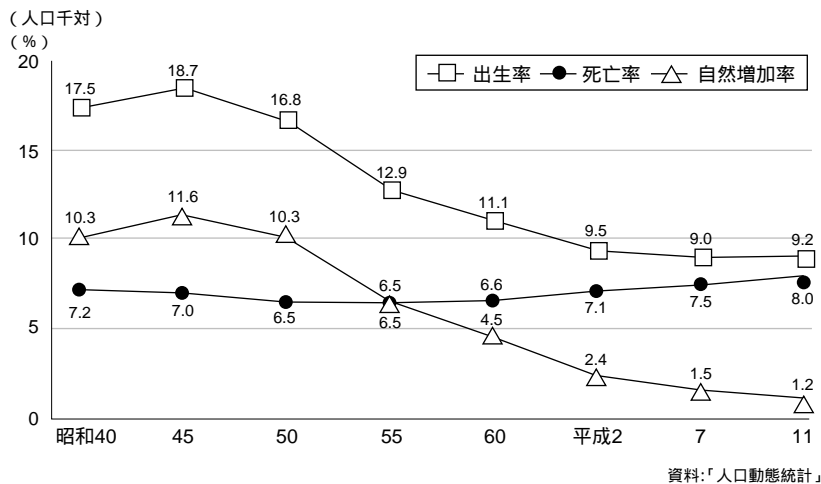
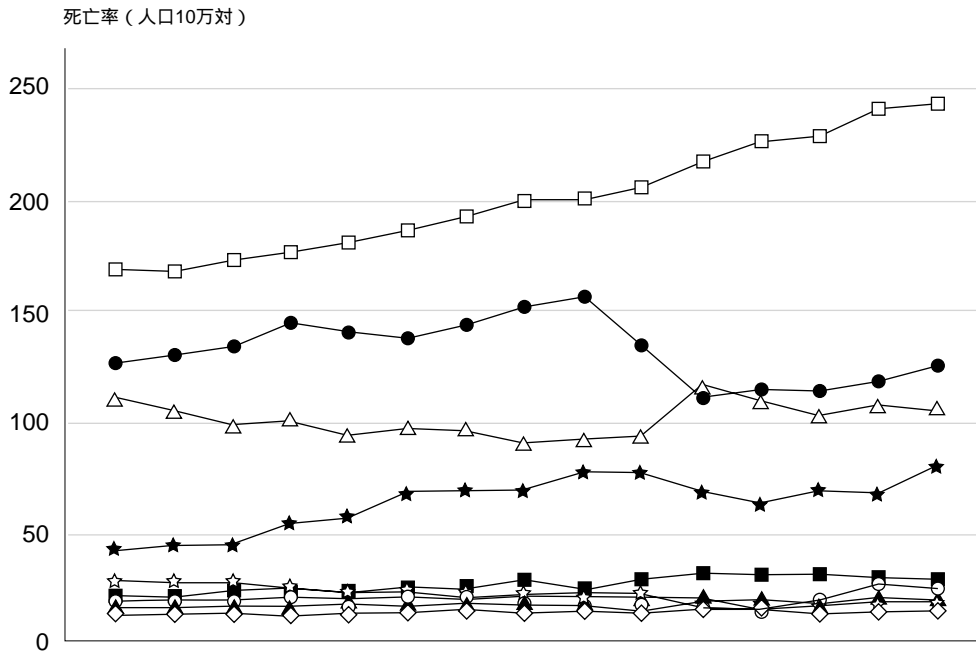


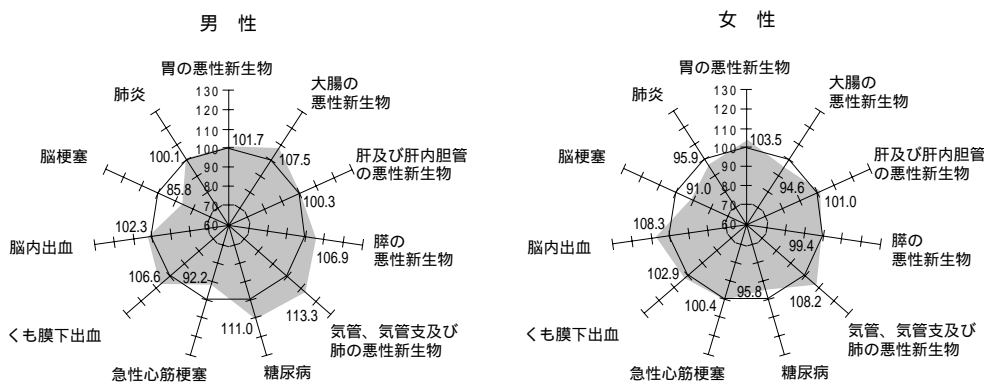
図7 京都府の死因別死亡率の年次推移



	昭60	61	62	63	平元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
□ 悪性新生物	169.3	168.4	173.5	176.8	181	185.9	192.6	199.7	200.1	204.8	215.9	224.7	226.8	238.9	240.8
● 心疾患	127.3	130.3	134.7	144.7	140.9	137.9	143.6	150.9	155.3	134.1	111.1	113.3	113	116.8	124.9
△ 脳血管疾患	111.3	105.5	99	101.5	93.4	96.9	95	89.8	90.9	92.3	115.3	108.9	102.4	106.4	104.7
★ 肺炎	43.1	45	45.2	55	56.3	67.6	67.8	68.3	77.3	76.3	67.4	61.7	68	65.9	78.8
■ 不慮の事故	21.6	21.5	22.3	23.4	22.9	24.4	24.8	27.5	23.6	27.1	30.6	29.3	29.2	27.9	26.9
○ 自殺	18.5	19.5	19.4	16.1	15.9	16.5	15.9	16.4	15	14.2	15	14.7	17.5	24.1	22.7
▲ 腎不全	16.4	16.5	15.6	18.7	20.1	19.5	19.6	21.7	22.4	22	18.2	18.6	16.9	17.7	18.1
☆ 老衰	28.9	27.2	26.2	24.2	22.3	22.6	20.7	20.4	20	20.5	15	14.7	17	15.3	15.5
◇ 肝疾患	13.3	12.2	12.2	12	12.3	12.9	13.4	13.1	13.4	12.3	12.9	12.8	11.4	11.8	12.8

注:平成6年度以前の肺炎は気管支炎を含む。  
資料:「京都府保健福祉統計年報」

図8 主な死因の年齢調整死亡率の全国に対する割合(平成7年)



資料:「厚生労働省統計情報部」

図9 わが国における糖尿病有病率と平均エネルギー摂取量、脂質摂取量、車の保有台数の推移

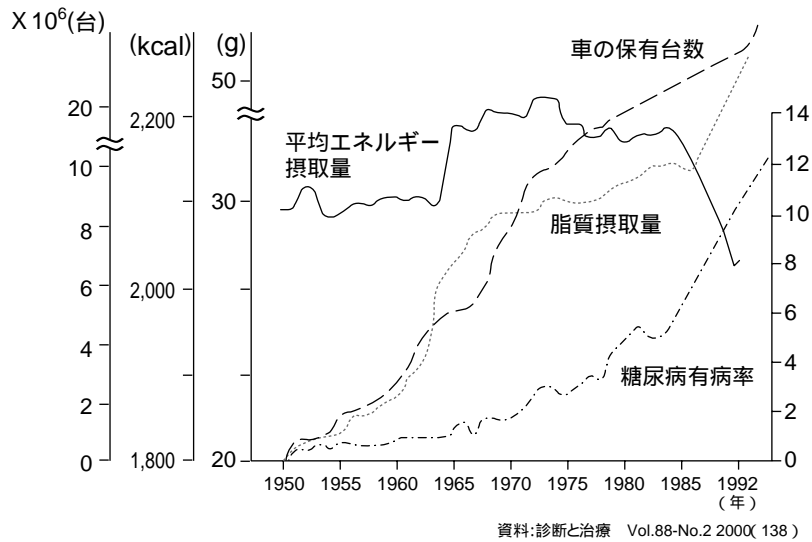


図10 国民一人1日当たりの供給熱量構成の推移

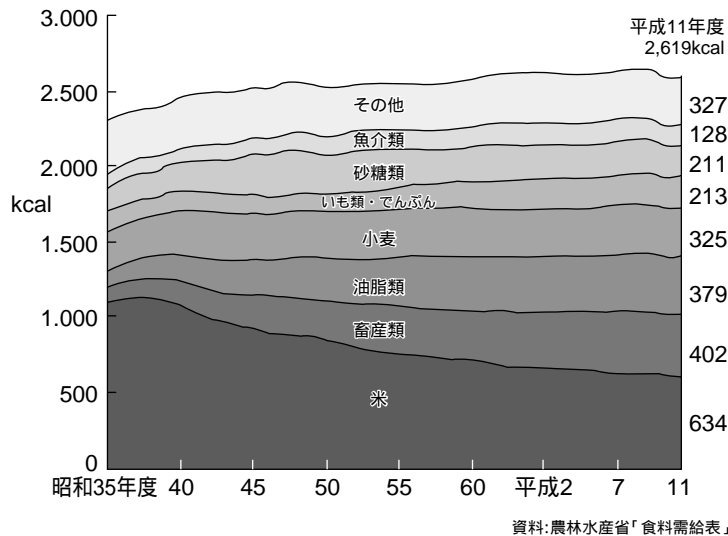


図11 耐久消費財の普及率

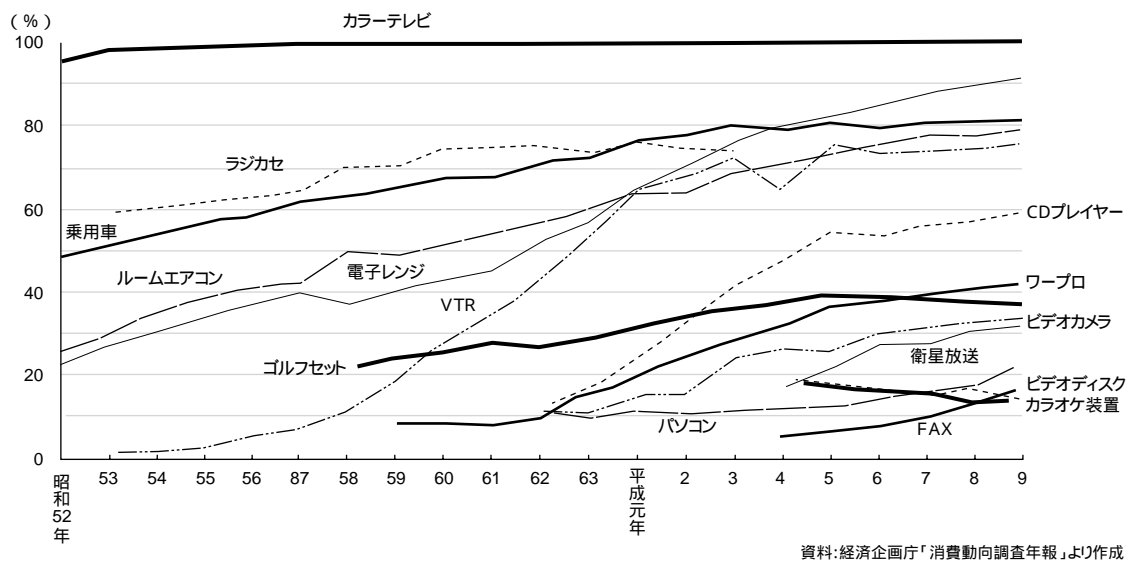
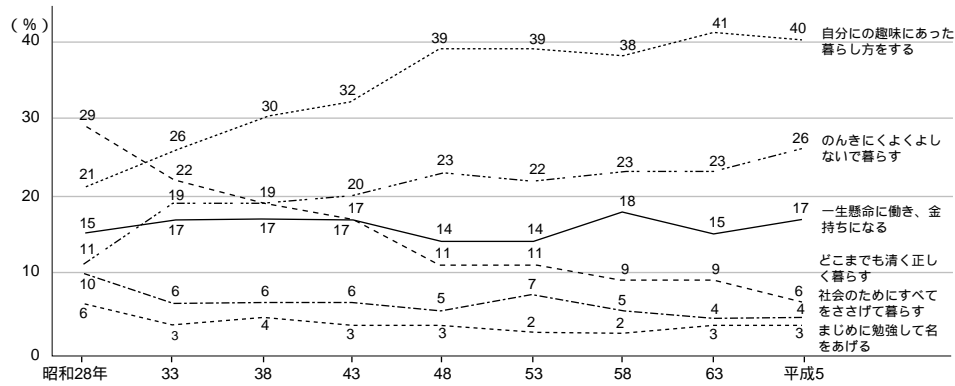
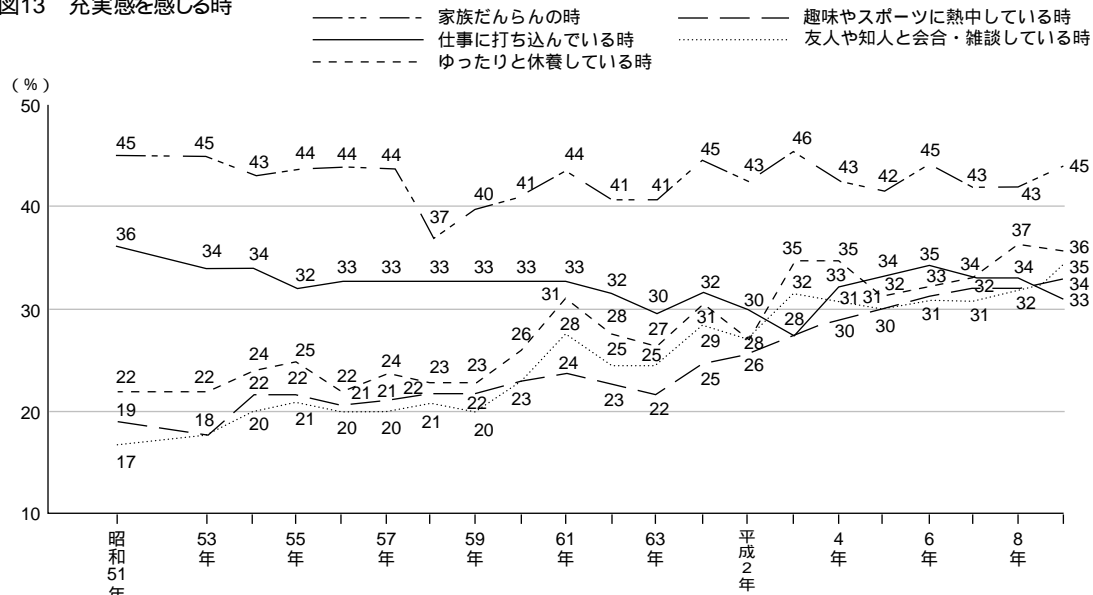


図12 日本人の暮らし方



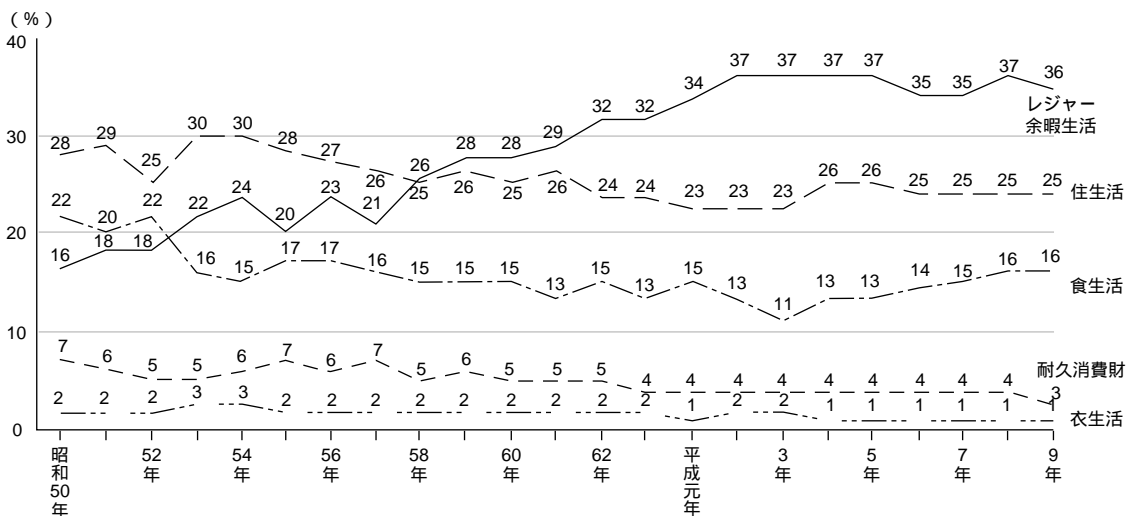
資料:統計数理研究所「日本人の国民性」

図13 充実感を感じる時



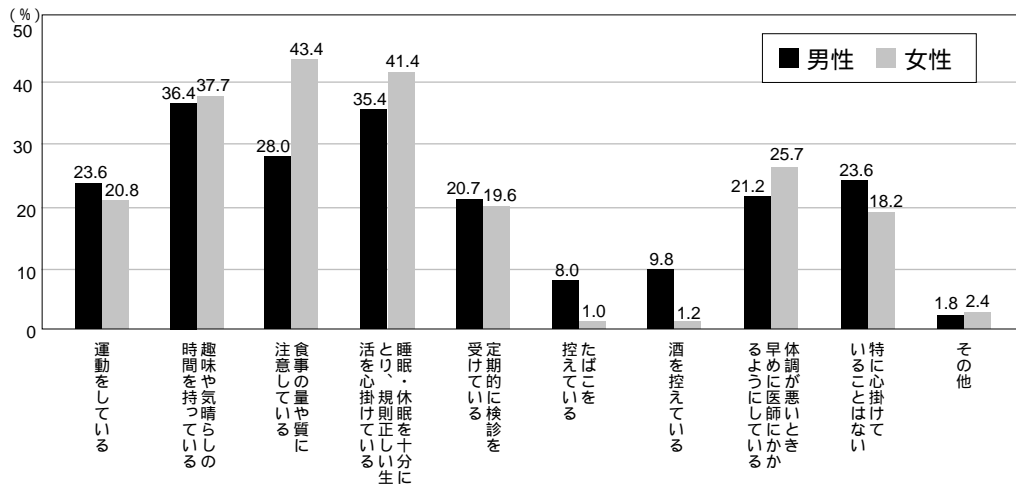
(注) 52年の調査では、この質問はおこなわれていない。  
資料:総理府広報室「国民生活に関する世論調査」

図14 これからの生活の力点の推移



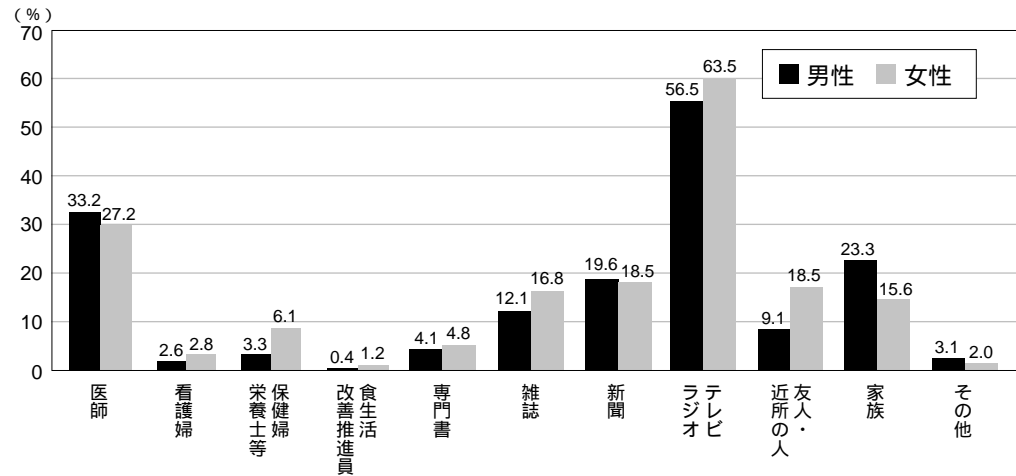
資料:総理府「国民生活に関する世論調査」

図15 健康づくりのために実践していること



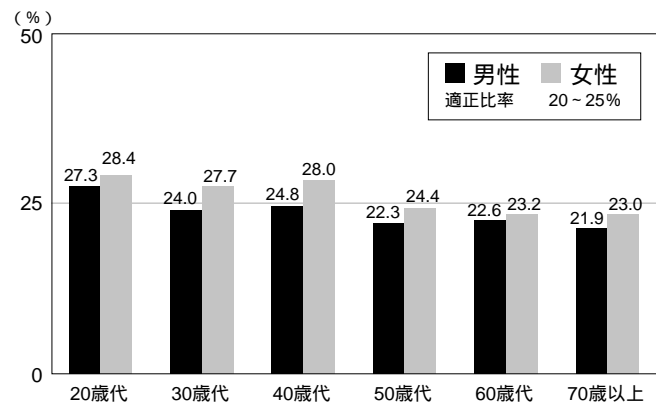
「平成10年度 府民健康づくり・栄養調査」

図16 健康づくりに関する情報源



「平成10年度 府民健康づくり・栄養調査」

図17 脂質エネルギー比率



「平成10年度 府民健康づくり・栄養調査」

図18 朝食毎日喫食者の割合

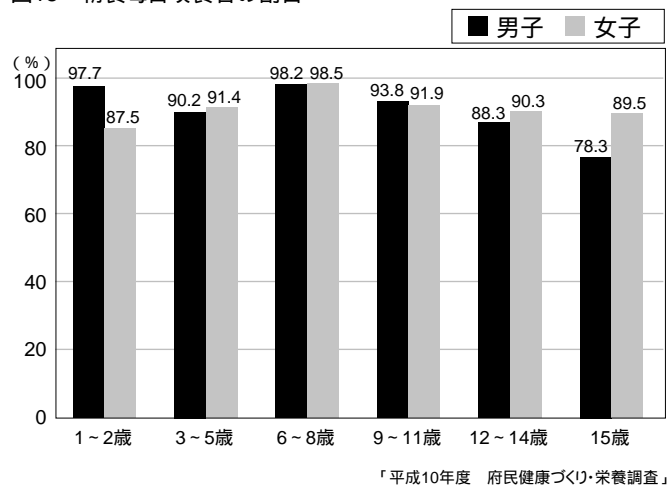


図19 週に3回以上家族そろって夕食を食べる者の割合

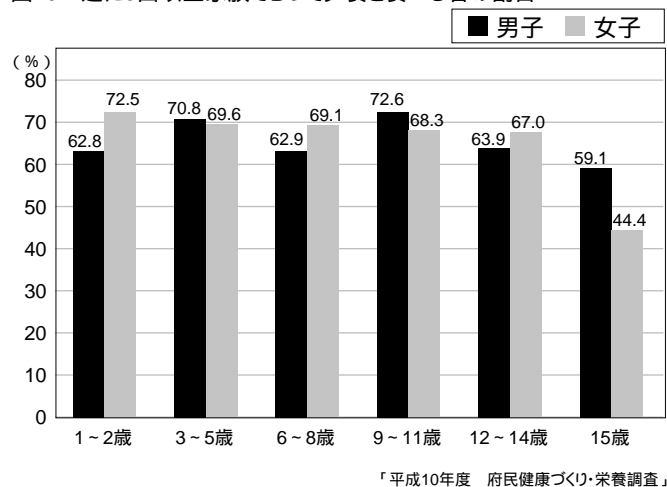


図20 間食の割合

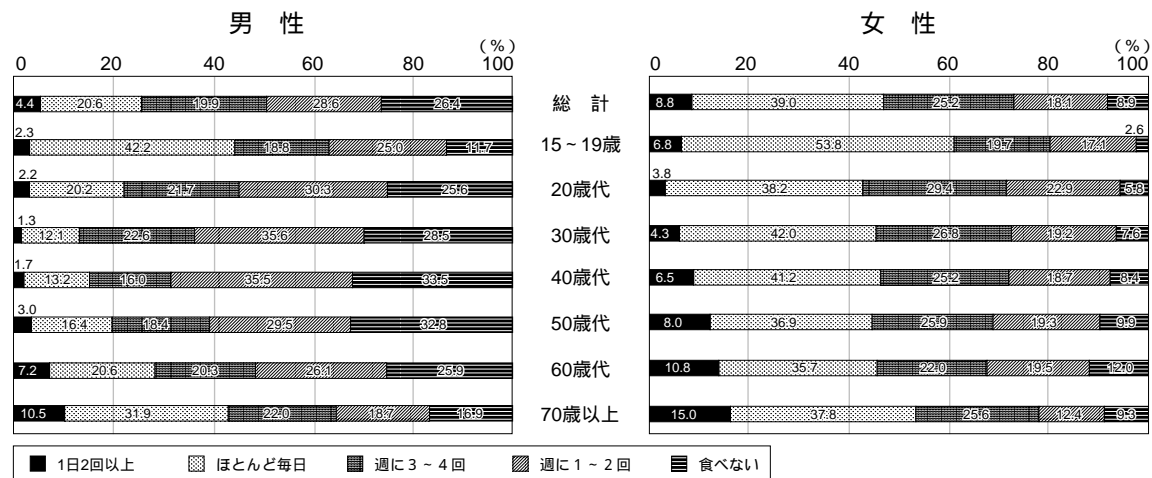




図21 家族そろっての夕食の頻度とバランススコア、野菜スコア

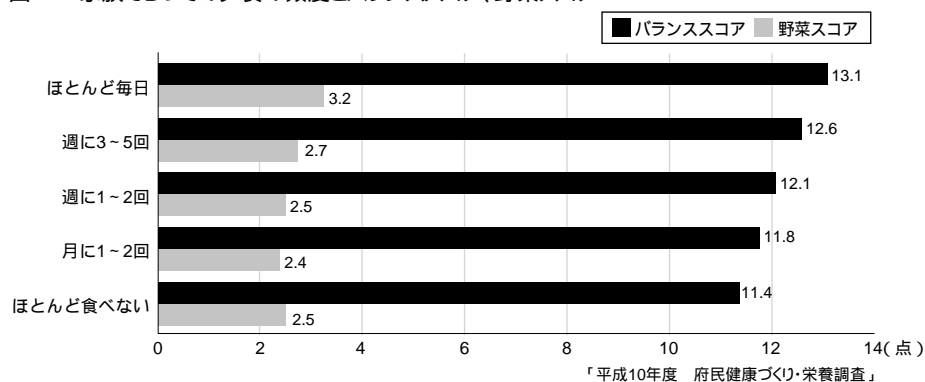


図22 朝食の摂取頻度とバランススコア、野菜スコア

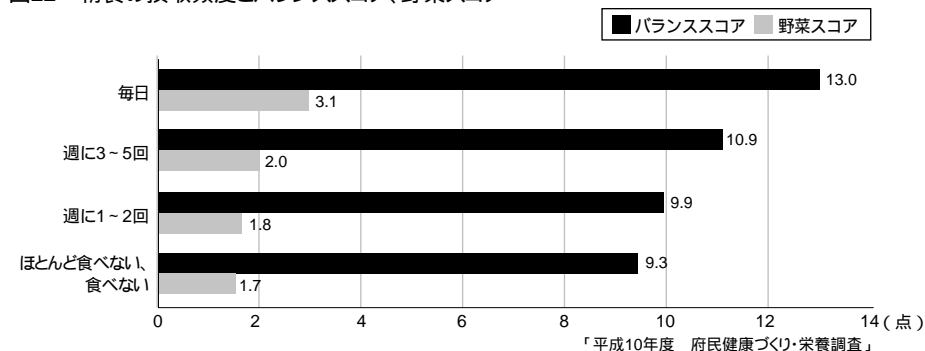


図23 食品の組み合わせに対する意識とバランススコア、野菜スコア

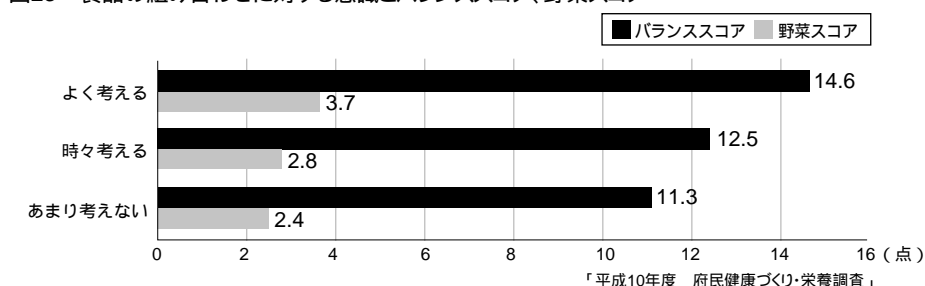
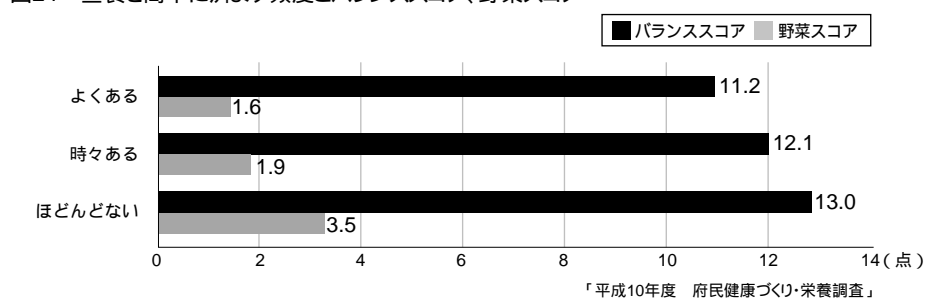


図24 昼食を簡単に済ます頻度とバランススコア、野菜スコア



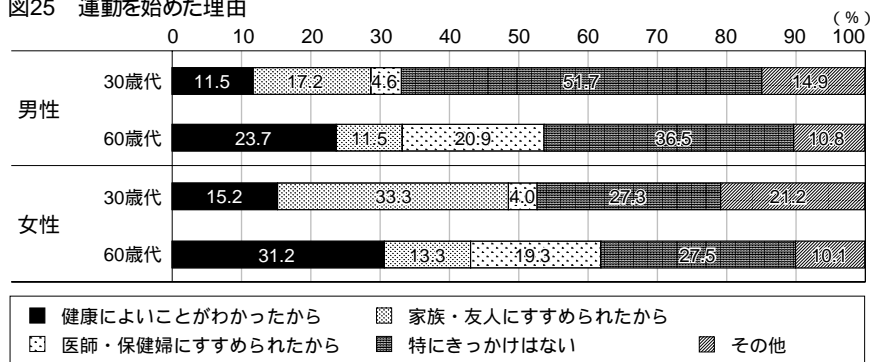
**バランススコア・野菜スコア** 食生活を評価する指標として池田順子(京都文教短期大学)が考案

**バランススコア:** 卵、肉、ハム・ウインナー、魚、塩干魚、練り製品、大豆製品、牛乳、乳製品、海藻、緑黄色野菜、その他の野菜、果物、主食、芋、油料理の16食品群の最近1か月間の摂取頻度から求めたスコアであり、値が高いほど食品がバランスよく摂取できていると判断する。(26点満点)

**野菜スコア:** 緑黄色野菜の摂取頻度、その他の野菜の摂取頻度、朝食における野菜の有無、昼食の取り方、野菜をたっぷり使った料理の有無といった5つの項目から算出し、値が高いほど野菜の取り方が良いと判断する。(9点満点)

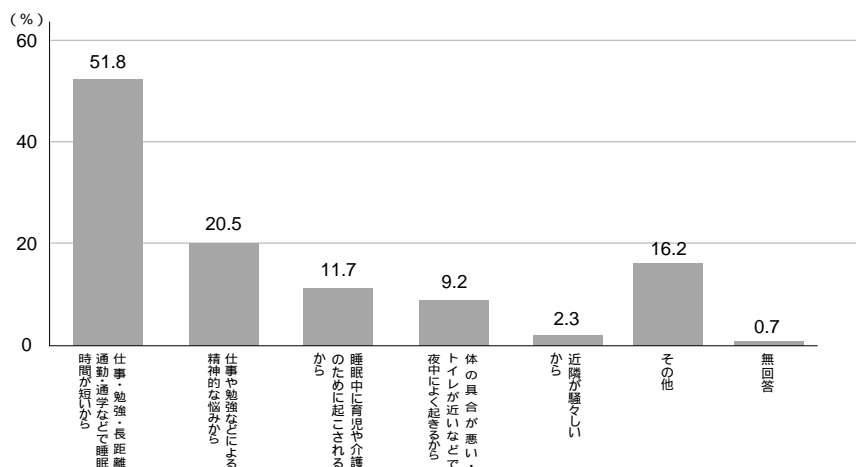
- 参考文献 1 池田順子、他 食品摂取頻度結果のスコア化による評価の妥当性について 日本公衆衛生雑誌、42、829-842(1995)  
2 池田順子、他 食生活診断・指導システムの一つの試み 日本公衆衛生雑誌、37、442-451(1990)

図25 運動を始めた理由



「平成10年度 府民健康づくり・栄養調査」

図26 睡眠で休養が取れない理由



資料:健康・体力づくり事業財団「平成8年度 健康づくりに関する意識調査」

表1 睡眠時間

		分	(参考)時間	
男性	就学前	1～2歳	599	9:59
		3～5歳	572	9:32
	小・中学生	6～8歳	579	9:39
		9～11歳	538	8:58
		12～14歳	480	8:00
	15歳以上	15～19歳	430	7:10
		20歳代	438	7:18
		30歳代	440	7:20
		40歳代	442	7:22
		50歳代	465	7:45
60歳代		505	8:25	
70歳以上	544	9:04		
女性	就学前	1～2歳	602	10:02
		3～5歳	564	9:24
	小・中学生	6～8歳	565	9:25
		9～11歳	540	9:00
		12～14歳	481	8:01
	15歳以上	15～19歳	422	7:02
		20歳代	431	7:11
		30歳代	429	7:09
		40歳代	411	6:51
		50歳代	434	7:14
60歳代		471	7:51	
70歳以上	530	8:50		

「平成10年度 府民健康づくり・栄養調査」

表2 12歳以上の者の悩みやストレスの有無—平成10年—  
原因(複数回答)別構成割合

(単位：%)

悩みやストレスの有無 悩みやストレスの原因	総数	男	女
総数	100.0	100.0	100.0
悩みやストレスがない	55.0	58.5	51.8
悩みやストレスがある	42.1 (100.0)	38.6 (100.0)	45.4 (100.0)
家族との人間関係	12.9	9.4	15.6
家族以外との人間関係	16.6	14.5	18.2
話し相手がいない	2.9	2.6	3.2
生きがいに関すること	8.1	8.1	8.2
自由にできる時間がない	9.5	8.7	10.1
将来・老後の収入	17.2	17.2	17.1
自分の老後の介護	12.7	10.4	14.6
自分の健康・病気	27.7	25.2	29.7
同居家族の健康・病気	15.3	12.7	17.3
別居家族の健康・病気	7.9	6.1	9.4
同居家族の介護	3.1	2.4	3.6
別居家族の介護	1.9	1.4	2.3
妊娠・出産	1.1	0.3	1.9
育児	3.9	1.0	6.2
仕事中的子どもの世話	0.8	0.3	1.1
子どもの教育	9.7	5.7	12.9
家事	3.8	1.0	6.0
仕事に関すること	33.7	48.7	21.9
自分の学業・受験・進学	8.5	9.0	8.1
収入・家計・借金	19.8	20.3	19.4
身近な人の死	2.5	1.8	3.1
住まいや生活環境	8.0	7.1	8.7
通勤・通学	4.6	5.6	3.8
その他	10.1	8.5	11.4
わからない	1.3	1.3	1.2

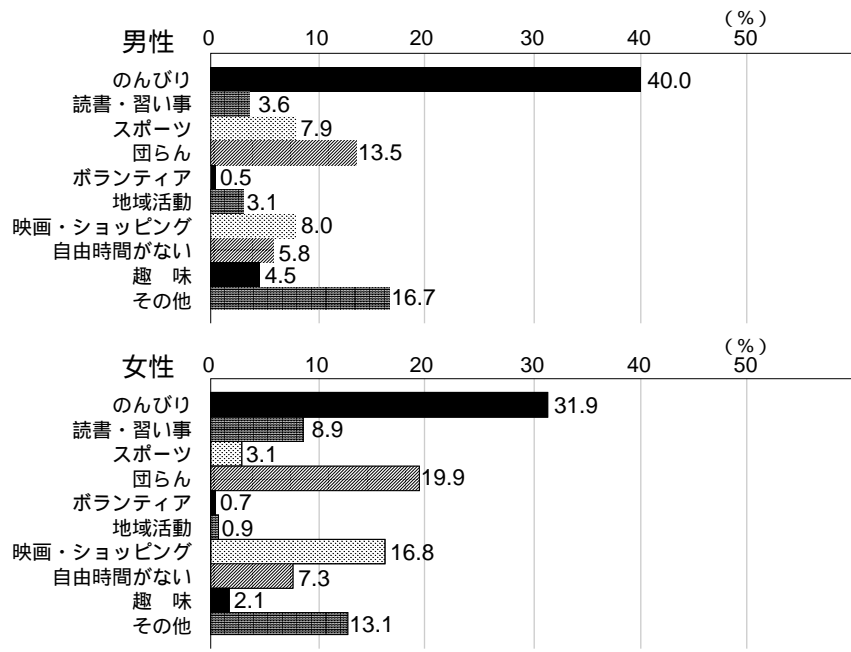
注：「総数」には、悩みやストレスの有無不詳を含む。  
資料：厚生省「国民生活基礎調査」

表3 平成8年患者調査の要約

疾患名	受療率			患者数(千人) (受療率×年齢別人口の総和)		
	入院	外来		昭和59年 ('84)	平成8年 ('96)	増減
精神分裂病	若年		増加	416	721	305
老年期痴呆	～	後期高齢	微増	46	91	45
気分障害 (そううつ病)	中高年	中高年	増加	97	433	336
神経症		高齢層	増加	260	466	206
その他	～	青壮年の アルコール	微増	376	456	80
合計	～40代		増加	1195	2167	972

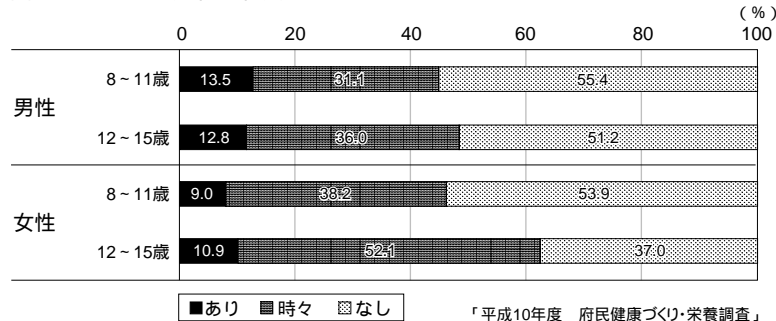
(注)「その他」には、国際疾病分類の精神及び行動の障害にある疾患の上記以外の疾患が含まれる。  
資料：厚生省精神保健福祉課調べ

図27 休日の過ごし方



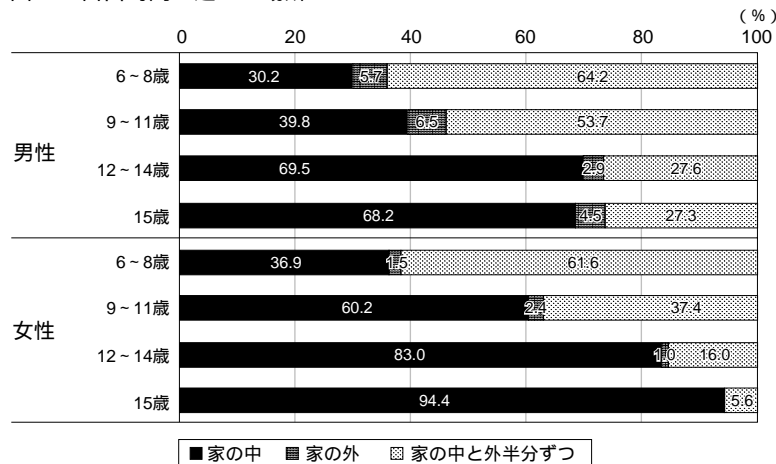
「平成10年度 府民健康づくり・栄養調査」

図28 イライラ症状の有無



「平成10年度 府民健康づくり・栄養調査」

図29 自由時間の過ごし場所



「平成10年度 府民健康づくり・栄養調査」

図30 歯間清掃補助用具を使用している者の割合

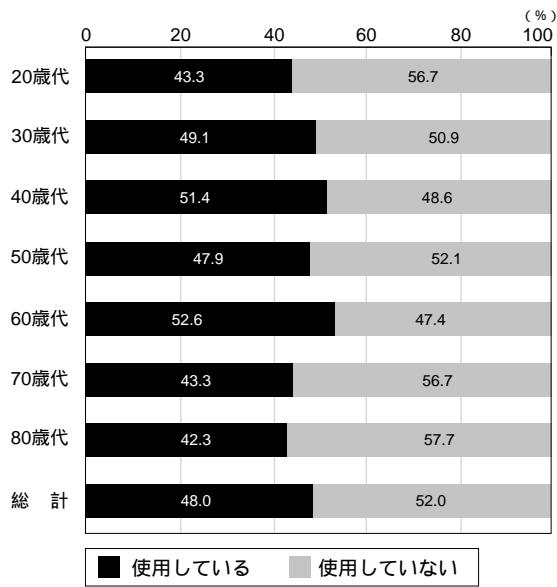
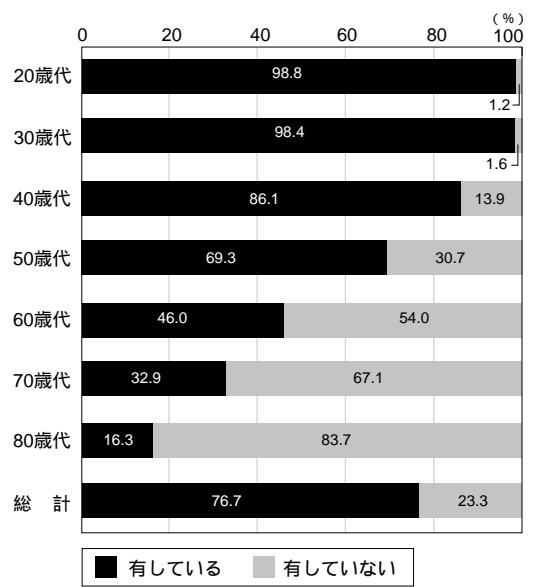
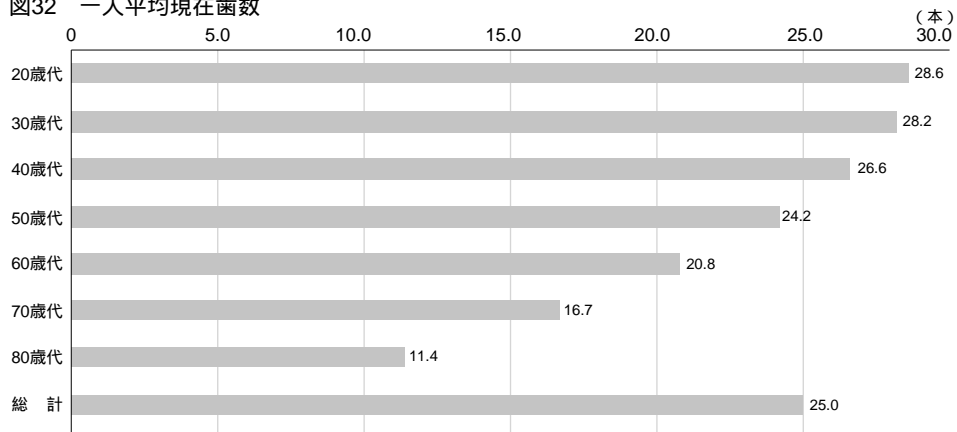


図31 24本以上の歯を有している者の割合



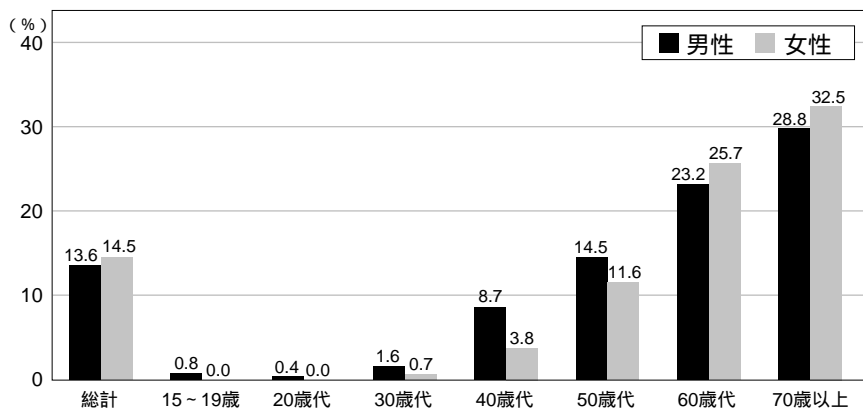
「平成12年度 府民歯科保健実態調査」

図32 一人平均現在歯数



「平成12年度 府民歯科保健実態調査」

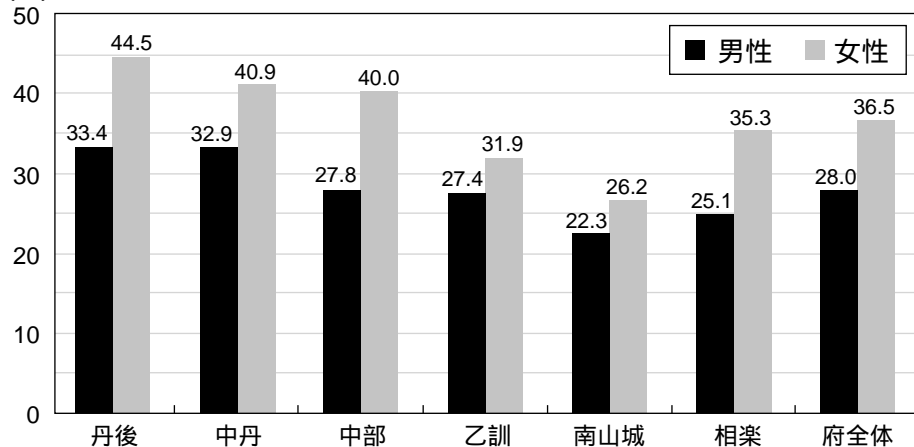
図33 高血圧であると自己認識している者の割合



「平成10年度 府民健康づくり・栄養調査」

図34 野菜をたっぷり使った料理を1日2食以上食べている者の割合(医療圏別)

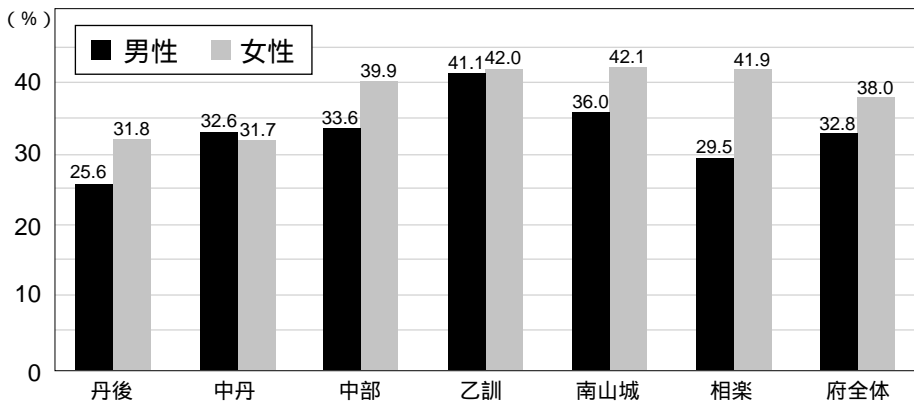
(%)



「平成10年度 府民健康づくり・栄養調査」

図35 定期的に運動をしている者の割合(医療圏別)

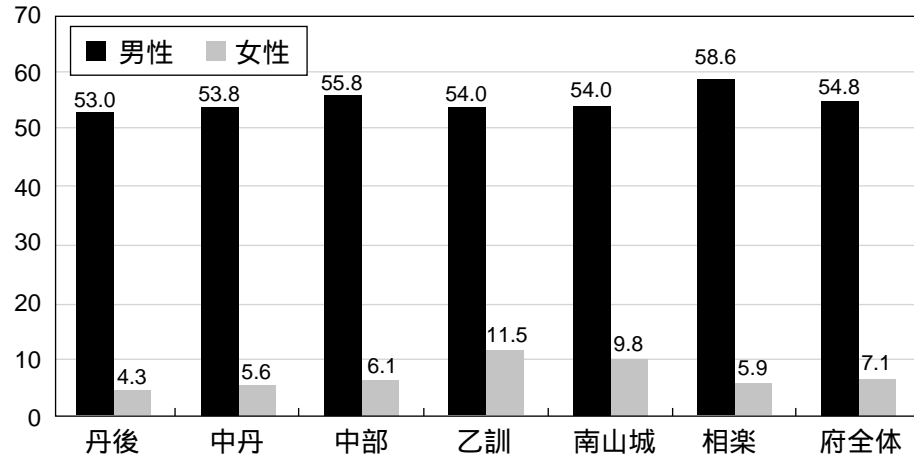
(%)



「平成10年度 府民健康づくり・栄養調査」

図36 喫煙率(医療圏別)

(%)



「平成10年度 府民健康づくり・栄養調査」

表4 平成11年度基本健康診査実施方法別受診者数

医療圏域	区分	対象者数 (人)	実施方法別受診人員(人)					受診率 (%)
			集団	個別・医療	小計	訪問健康診査	合計	
丹後		41,707	11,154	2,820	13,974	28	14,002	33.6
中丹		54,721	8,152	6,497	14,649	0	14,649	26.8
中部		40,990	8,691	6,577	15,268	2	15,270	37.3
乙訓(京都市を除く)		32,580	3,040	14,725	17,765	35	17,800	54.6
南山城		83,591	0	44,231	44,231	0	44,231	52.9
相楽		24,038	2,109	4,109	6,218	0	6,218	25.9
京都府計		277,627	33,146	78,959	112,105	65	112,170	40.4

表5 平成11年度基本健康診査結果(%)

医療圏名	高血圧境界	高血圧	心電図異常	貧血	肝疾患	糖尿病	腎機能障害
丹後	21.9	13.4	30.6	18.3	19.3	29.4	37.2
中丹	26.7	13.7	23.9	8.3	12.8	12.0	10.8
中部	26.0	15.6	21.6	15.6	29.3	20.9	18.6
京都・乙訓(京都市を除く)	15.5	23.1	21.0	22.2	19.4	12.4	13.7
南山城	24.1	11.7	19.3	8.8	14.1	10.3	14.3
相楽	15.0	11.2	19.7	10.6	18.5	16.3	13.7
京都府計	22.6	14.5	21.9	13.1	17.8	15.0	17.2

資料:「老人保健事業報告」

表6 地域別3大疾患の標準化死亡比

悪性新生物

医療圏域	区分	男性		女性	
		昭和63年～平成4年	平成5年～平成9年	昭和63年～平成4年	平成5年～平成9年
丹後		91.1	96.8	87.7	90.7
中丹		90.7	94.8	91.2	93.1
中部		85.3	89.8	84.2	87.4
京都・乙訓(京都市を除く)		94.1	96.6	100.4	95.4
南山城		99.0	95.9	105.0	101.8
相楽		103.0	97.4	91.1	91.4
京都府計		100.7	100.8	102.1	102.5

心疾患

医療圏域	区分	男性		女性	
		昭和63年～平成4年	平成5年～平成9年	昭和63年～平成4年	平成5年～平成9年
丹後		91.9	94.0	80.7	99.3
中丹		95.1	93.9	100.5	100.2
中部		102.5	107.5	108.0	101.4
京都・乙訓(京都市を除く)		86.0	92.9	100.2	99.4
南山城		99.9	90.8	105.8	97.0
相楽		92.1	89.5	98.0	94.9
京都府計		94.3	94.2	101.2	98.0

脳血管疾患

医療圏域	区分	男性		女性	
		昭和63年～平成4年	平成5年～平成9年	昭和63年～平成4年	平成5年～平成9年
丹後		103.7	89.9	115.9	108.2
中丹		85.4	89.2	94.0	93.9
中部		104.1	88.3	105.2	100.8
京都・乙訓(京都市を除く)		76.0	79.5	84.3	84.6
南山城		79.9	81.4	82.1	79.1
相楽		99.2	102.6	124.0	118.0
京都府計		87.4	87.2	88.5	90.2

資料:「人口動態統計特殊報告」

## 総合的な府民の健康づくり指針策定の経過

### 平成10年度 府民健康づくり・栄養調査の実施

平成10年	7月13日	}	府民健康づくり・栄養調査検討会開催			
	8月18日		調査項目			
	9月 4日		調査地区選定方法など検討			
	8日		助言者			
			京都府立医科大学附属脳・血管系老化研究センター	教授	渡邊	能行
			京都府立医科大学人間環境学部	教授	中坊	幸弘
			京都文教短期大学	教授	池田	順子
	11月		府民健康づくり・栄養調査実施			
			調査項目 (1)身体状況調査			
			(2)栄養摂取状況調査			
			(3)生活習慣状況調査			
			調査数	43市町村、7,000人		
			回収数	5,590人(回収率:80%)		

### 平成11年度 総合的な府民の健康づくり推進に向けた検討

平成11年	7月14日	}	総合的な府民の健康づくり推進に向けた検討会議			
	9月 7日		府域全域の健康課題の分析			
	10月15日		実践目標の検討			
平成12年	1月20日	}	地域健康課題分析の助言			
	3月 6日		助言者			
			京都大学医学部公衆衛生学	教授	中原	俊隆
			京都府立医科大学附属脳・血管系老化研究センター	教授	渡邊	能行
			京都府立医科大学人間環境学部	教授	中坊	幸弘
			京都文教短期大学	教授	池田	順子
			京都府向陽保健所	所長	衣笠	昭彦

#### 保健所検討会(各保健所毎に3~4回開催)

地域の健康課題の分析

地域の実践目標の検討